

バリダマイシン粉剤 バリダシン粉剤 DL	取扱メーカー： 北興、住友化学 原体メーカー： 住友化学
成分： バリダマイシン〔抗生物質〕……………0.30%	性状： 類白色粉末45 μ m以下， 浮遊性指数20以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

●菌体内に速やかに取り込まれ、正常な菌糸伸長や侵入菌糸塊形成などの侵入行動を不可能にして効果を表す。

●病原菌の菌糸に作用し、その伸長を阻止し、異状分岐を起こさせ、病原性を喪失せしめる。

●菌糸には速やかに吸収され水洗によって溶出されにくい、耐雨性と効果の持続性がある。

●リゾクトニア菌及びその近縁の菌核病菌に特異的な作用を有する。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●紋枯病の防除適期は病斑が株元から上位葉鞘にあらがり始める頃（一般には穂ばらみ期から出穂期にかけた頃）である。

●穂ばらみ期頃に散布すれば最も効果的であるがその後さらに病勢が進む場合には発病の程度に応じて散布を追加する。

●稲の株元や葉鞘の発病部をねらって、全体によくかかるように散布するのが最も効果的な散布法であるが、パイプダスターなどで稲の上（草冠上）から散布しても効果的である。

●ばれいしょの種いも粉衣処理に使用する場合、次のことに注意する。

○植付前に本剤の所定量を適当な容器の中で均一に粉衣する。

○切断した種いもは切断面が乾いてから処理する。

【薬効・薬害等の注意】……………

●適用外作物（きく）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●処理した種いもは食料や動物飼料として用いない。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌) 疑似紋枯症 (褐色菌核病菌) 疑似紋枯症 (褐色紋枯病菌)	3 ～ 4 kg	14 日前まで	5 回以内	散布	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回 以内, 本田では 5 回以内)
い め さ	紋枯病	3 ～ 4.5 kg	—	—		—
ばれいしょ	黒あざ病	種いも重量の 0.3%	植付前	1 回	種いも粉衣	7 回以内 (種いもへの処理は 1 回以内, 植付後 は 6 回以内)
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20 kg	14 日前まで	4 回以内	株元散布	4 回以内